

※ 当資料は今後の議論を踏まえ変更する可能性があります

次期岐阜県リニア中央新幹線活用戦略 骨子素案

岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会

＜戦略の基本的な考え方＞

- ▶ 「『リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり』の具体的な方向性」の3本柱をベースとしながら、これを東濃・可茂圏域だけでなく、県内全域に広げていく

＜具体的な方向性の3本柱＞

- ①国内外から訪れてもらえるまち
- ②首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまち
- ③まちの魅力を高める基盤整備

- ▶ 首都圏・関西圏からの視点をより強く意識する
- ▶ 若者を中心に、リニアを活用したまちづくりに関する県民の機運醸成を図る 4-3,5-3
- ▶ 国やリニア中間駅設置県などの他の自治体、特に隣接する長野県木曽地域や愛知県西三河地域などと積極的に連携を図る 2-2,3-4,5-2

次期戦略の具体的な方向性



【共通認識】 県民とともに描く未来への機運づくり

【方向性】

リニアの開業効果や工事の進捗状況などについて、**SNSや動画など各種媒体で、県民、そして首都圏をターゲットとした情報発信を行う。**それとともに、**特に若者を中心に、リニアを活用したまちづくりを考える機会を創出し、県民がまちづくりに参画・協働する取組を推進** 4-3,4-4,5-3

【具体的な施策のイメージ】

- ① SNS等を活用した情報発信の充実・強化
- ② 県民とともにまちづくりを考える**機会の創出** 4-3,4-4,5-3
- ③ 県民とともに創り上げるまちづくり

1 国内外から訪れてもらえるまちづくり

【方向性】

県内各地に点在する自然や食、伝統文化などのここでしか体験できない**魅力を更に磨き上げるとともに、国内外に発信して**いくなど、**観光の質と観光客数のバランスを図りながら取組を推進する**ほか、**交通ネットワークで各地を結び、周遊性を持たせていく取組を推進** 7-2

【具体的な施策のイメージ】

- ① 地域資源（自然や食、伝統文化など）の発掘・選定・強化
- ② 農林業体験やアウトドア活動を楽しむ環境整備
- ③ 周遊促進、宿泊の創出

2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまちづくり

【方向性】

日本の中央に位置し、津波の心配がないという県が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然に囲まれたストレスの無い環境を強みに、**先端産業などの研究機関やサテライトオフィス、教育機関などの誘致や、関係人口の創出、移住・二地域居住の取組などを推進**

【具体的な施策のイメージ】

- ① 関係人口の創出、移住・二地域居住の推進
- ② 医療・介護体制の整備
- ③ 子育て支援体制の整備
- ④ 地域を担う人材の育成・確保
- ⑤ 地域を支える産業の育成・支援
- ⑥ 先端産業・行政機能等の誘致

3 まちの魅力を高める基盤整備

【方向性】

この地域らしい景観を有し、機能的で利便性の高い**リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備**、そこへアクセスするため、また、県内を周遊するための**広域道路ネットワークの整備**、**自動運転なども含めた二次交通の充実等を推進**

【具体的な施策のイメージ】

- ① リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備
- ② リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備
- ③ リニア駅等を起点とした公共交通ネットワークの充実
- ④ 交通拠点の機能強化
- ⑤ 安全で安心なまちづくり

【共通認識】 県民とともに描く未来への機運づくり

リニアの開業効果を全県的に広げていくためには、まずは**県民の皆様**にリニアへの関心を持ってもらい、そのうえで、**リニアが来た将来のまちづくりをイメージ**していただくことが重要

そのため、リニアの開業効果や工事の進捗状況などについて、**SNSや動画など各種媒体で、県民、そして首都圏をターゲットとした情報発信**を行う。それとともに、**特に若者を中心にリニアを活用したまちづくりを考える機会を創出し、県民がまちづくりに参画・協働する取組を推進**

4-3,4-4,5-3

【具体的な施策のイメージ】

① SNS等を活用した情報発信の充実・強化

- SNS・各種イベントなど様々なツールを利用した開業効果・建設工事の進捗状況の発信や開業効果とあわせて岐阜県の魅力を紹介する動画の作成など県民の関心を高めるとともに、首都圏をターゲットとした情報発信を展開

② 県民とともにまちづくりを考える機会の創出

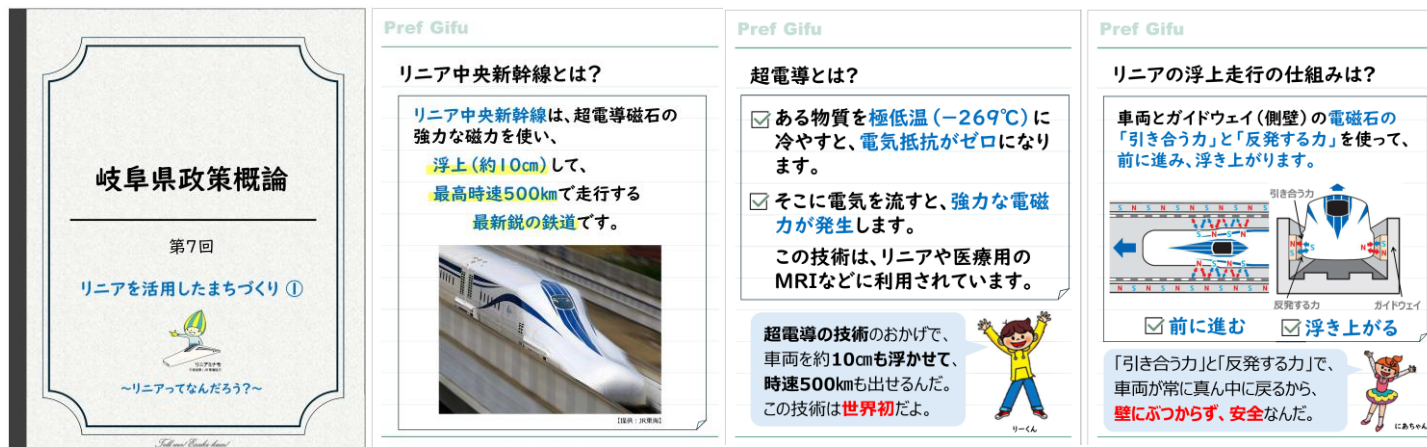
- リニア建設現場の見学会や開業効果をテーマとした出前講座、リニアを活用したまちづくりを考えるシンポジウムの開催、小・中学生向けのリニアへの理解を深める副読本などの作成など、特に若い世代のシビックプライドを高める取組を推進

4-3,4-4,5-3

③ 県民とともに創り上げるまちづくり

- リニアへの理解を深め、リニアを活用したまちづくりについて考えた上で、県民が主体的に参画し、協働でまちづくりを推進

SNSを活用した情報発信



県内のリニア建設工事現場（リニア岐阜県駅）



1 国内外から訪れてもらえるまちづくり

「国内外から訪れてもらえるまち」とするためには、この地域が、東京から1時間弱で結ばれ、トンネルを抜けると「別世界」の体験ができる特別な地域として感動してもらえることが重要

そのため、県内各地に点在する自然や食、伝統文化などのここでしか体験できない魅力を更に磨き上げるとともに、国内外に発信するなど、観光の質と観光客数のバランスを図りながら取組を推進するほか、交通ネットワークで各地を結び、周遊性を持たせていく取組を推進

7-2

【具体的な施策のイメージ】

① 地域資源（自然や食、伝統文化など）の発掘・選定・強化

- 県内市町村や事業者等と緊密に連携し、山や川、温泉などの豊かな自然、飛騨牛や鮎、栗きんとんなどの食、中山道や地芝居、戦国武将、祭りなどの歴史・伝統文化、広域からの誘客が見込まれる音楽フェスなどのイベントなど、岐阜県ならではの地域資源の磨き上げや情報発信を推進 1-2,4-1
- 歴史や伝統文化、地場産業を主なテーマとした「東美濃歴史街道協議会」など、共通のテーマのもと、関係者が一体となった取組を推進 7-1
- リニア中央新幹線や中部総合車両基地そのものを岐阜県の新たな観光資源として活用を推進

② アウトドア活動や農林業体験等を楽しむ環境整備

- ゴルフ、キャンプ、グランピング、サイクリング、ウォータースポーツ、モータースポーツ、ウィンタースポーツなど、自然を生かした岐阜県ならではの魅力を感じられる特別なアウトドア体験商品の造成・販売により、アウトドアツーリズムを推進
- 森林サービス産業に取り組む事業者が行う地域資源を生かした体験プログラムの磨き上げやトイレ等の受入環境整備、インバウンドの受入体制強化の支援を推進
- 「ぎふの農村体験」をブランド化し、農泊と連携させた一体的な情報発信や観光事業者への提案など、「G I F U - D O（ぎふうど）農泊」の取組を推進
- 体験型観光に携わる人材の育成・確保を推進 7-3

③ 周遊促進、宿泊の創出

- まずは日帰り来訪を促す取組を推進し、次に県内での滞在時間を増やす取組、さらに宿泊環境の整備に繋げるなど、段階的な取組を推進するとともに再訪してもらうような交流人口拡大のための取組を推進 1-1,2-3,4-2,6-1,6-2
- 歴史・伝統文化、産業観光を中心とした観光誘客について、自然を生かしたアウトドア体験と運動させながら、通年楽しめるような広域周遊・体験型観光プログラムを開発し、関係事業者等と連携した一体的なプロモーションを推進 3-3,6-2
- リニア岐阜県駅を起点とすることに加え、名古屋駅、岐阜羽島駅、空港、既存鉄道・道路など様々なゲートウェイから訪れる観光客層、移動経路、周遊テーマを整理し、ターゲットに応じた観光誘客を推進 2-1
- リニア開業を契機として、陶磁器など地域資源を活用したインバウンド向けの体験について、自治体間で連携した取組を推進

2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまちづくり

「働き住んでもらえるまち」とするためには、**生活圏・通勤圏に含まれることとなる首都圏・関西圏の方々から見ても、利便性が高く、魅力的で安心して働き生活できる環境を提供**することが重要

日本の中央に位置し、津波の心配がないという県が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然に囲まれたストレスの無い環境を強みに、**先端産業などの研究機関やサテライトオフィス、教育機関などの誘致や、関係人口の創出、移住・二地域居住の取組などを推進**

【具体的な施策のイメージ】

① 関係人口の創出、移住・二地域居住の推進

- 豊かな自然などの岐阜県ならではの地域資源を生かした関係人口の創出を図り、二地域居住、さらには移住へ繋げていく取組を推進
- 首都圏・関西圏からの移住希望者等のニーズを踏まえた情報発信や相談対応、移住支援金をはじめとした移住支援策等の取組を推進
- 気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学べるスタートアップの「場」を設け、半農半Xなど多様な主体・形の農業参画を図る「アグリパーク構想」を推進
- 「ぎふの農村体験」をブランド化し、農泊と連携させた一体的な情報発信や観光事業者への提案など、「G I F U-D O（ぎふうど）農泊」の取組を推進（再掲）
- 県と市町村が連携し、空き家所有者に対する空き家活用のための情報提供や啓発を推進
- 幼少期に自然を体験できる保育園の短期滞在プログラムを推進
- リニア関連工事のため県内に住まわれた方々が、工事後も岐阜県に残っていただけるような取組を推進 3-5

② 先端産業・行政機能等の誘致

- リニア開業を見据え、「東濃クロスエリア本社機能移転推進会議」をはじめ、官民連携により、大容量で安定した通信インフラの整備等を通じて首都圏や関西圏からの本社機能移転、研究機関・サテライトオフィス・データセンター等の誘致を推進 1-3
- 国において設置が検討されている防災庁について、国に対し積極的に要望活動を行うなど、岐阜県への地方機関の誘致に向けた取組を推進

③ 医療・介護体制の整備

- 将来の医療需要を見据えた医療提供体制の構築、医師偏在対策の促進を図るとともに、介護現場の人材の確保・生産性の向上を推進 5-1

2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き住んでもらえるまちづくり

【具体的な施策のイメージ】

④子育て支援体制の整備

- 保育所や放課後児童クラブの待機児童解消のための人材確保対策など、安心して子育てができる体制整備を推進
- 小・中学生等への木育プログラムの実施や、県外も含めたリニア沿線市町村等への森林環境教育プログラムの提供、県内進出企業と連携したぎふ木育指導者の活用など、「ぎふ木育」の取組を推進

5-1

⑤地域を担う人材の育成・確保

- リニア開業により、リニア岐阜県駅周辺が首都圏や関西圏から見て通学圏に含まれることを見据え、大学などの教育機関の誘致を推進
- リニア開業に伴い、地域が必要とする産業人材の育成・確保を推進
- 幅広い人材供給のニーズに応える地元の教育環境や、岐阜県ならではの魅力的な教育環境の充実を通じ、地域の人材育成を推進

⑥ 地域を支える産業の育成・支援

- 岐阜県の伝統・地場産業について、資源枯渇や担い手不足などの課題を解決するための事業者等への支援を推進
- リニア岐阜県駅に隣接する中部総合車両基地の建設を契機として、新たな雇用の創出や地域の産業振興にかかる取組を推進
- 岐阜県が誇るブランド木材である東濃ヒノキの利用拡大を図るため、首都圏・関西圏からの移住者等の増加を想定し、県産材住宅等の需要の拡大や森林技術者の確保などの取組を推進
- リニア建設工事において、県内企業の受注機会確保・拡大、県産品の活用など建設段階の経済効果を県内に取り込む取組を推進

3 まちの魅力を高める基盤整備

上記 2、3 を実現するためには、**訪れた人が目的地まで容易にアクセス**できたり、**働く人・住む人が快適に生活**したりすることができるよう、**まちの社会基盤を整備**することが重要

そのため、この地域らしい景観を有し、機能的で利便性の高い**リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備**、そこへアクセスするため、また、県内を周遊するための**広域道路ネットワークの整備**、**自動運転なども含めた二次交通の充実等を推進**

【具体的な施策のイメージ】

① リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備

- リニアで訪れた人が「別世界」に来たと感動するような、この地域らしい豊かな自然と歴史・文化を生かした景観を有するとともに、隣接する J R 美乃坂本駅の機能強化など、機能的で利便性の高いリニア岐阜県駅及び駅周辺の整備を推進 **3-2**
- 県や地元自治体、J R 東海が連携し、岐阜県の東の玄関口となるリニア岐阜県駅における県産品販売や観光情報発信の拠点としての機能の整備を推進

② リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備

- 濃飛横断自動車道や国道 19 号瑞浪恵那道路など、リニア岐阜県駅へのアクセス性を向上させる道路及びリニア岐阜県駅のある東濃圏域から県内そして隣接県へと魅力ある拠点を結び、周遊性を促進する道路網の整備を推進

③ リニア駅等を起点とした公共交通ネットワークの充実

- リニア開業により生じるリニア岐阜県駅、名古屋駅、岐阜羽島駅などを起点とした新たな人流や交通ニーズへの対応及び地域を支える公共交通の維持・確保のため、自動運転など新技術の活用や広域バス路線の創出など、リニア岐阜県駅からの二次交通を含めた公共交通の効率化及び利便性の向上を推進 **3-1,3-2**

④ 交通拠点の機能強化

- 利用需要との調和を図りながら、リニア岐阜県駅へのアクセス向上のためのパーク・アンド・ライドに供する駐車場の整備を推進
- リニア開業を見据え、その効果を県内各地域にも波及させるため、在来線の駅周辺整備など、交通拠点の機能強化を推進

⑤ 安全で安心なまちづくり

- 新丸山ダムや木曽川水系連絡導水路など、洪水氾濫や渇水の被害から人々の暮らしや企業の活動を守るための取組を推進
- リニア開業を見据えた新たな道路網の整備に伴う交通流の変化に応じた交通事故抑止対策や、人の流れや交通量の増加が見込まれる場所の防犯対策を推進